

# 競技注意事項

1. 2020年、日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。
2. 感染症対策
  - (1) 各チーム代表者は来場する選手・指導者・保護者を事前に把握し、当日の体調等を確認し、受付時に県小学生大会 チーム登録者・体調チェック表を提出すること。
  - (2) 声を出しての応援やフィールドの選手への声掛けは禁止する。
  - (3) 密を避けるため、開門前に並ぶことを禁止する。  
あらかじめ連絡した場所を十分な間隔をあけて使用すること。
  - (4) 手指消毒、手洗いをこまめに行うこと。
  - (5) 招集場所や出発場所での密集を避けるため、間隔を十分とるように選手に指導しておくこと。
  - (6) 十分なディスタンスが確保できないところでは、マスクの着用を徹底すること。
3. 招集について
  - (1) 招集時間  
種目により招集開始時間、招集完了時間が違うので裏表紙の競技時間表で確認のこと  
招集完了時刻に余裕をもって集合すること。
  - (2) トラック競技の招集所は、メイン競技場・第1ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。  
走幅跳の招集（コンバインドB）は、第4ゲートで行う。
  - (3) 主競技場への入場は、招集完了後選手誘導係の誘導によって入場するので、招集所にて待機すること。
  - (4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた選手は出場を認めない。  
招集時にスパイクピンを確認する。（オールウェザー用9mm以下）
  - (5) リレー種目はオーダー用紙を招集完了の1時間前までに招集所へ提出し、その上所定の時間に招集を受けること。（決勝も同様）棄権する場合は、その旨を口頭で招集所へ申し出ること。
  - (6) オーダー用紙は、TICに準備する。
  - (7) リレー種目は4人のユニフォームを揃えること。招集所でチェックする。
  - (8) 電子機器類の競技場への持込を禁止する。（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）  
招集所で持ち物をチェックすることがある。
4. 表彰について
  - (1) 各種目3位までの入賞者・チームは、表彰を行う。  
3位入賞者は競技終了後、すみやかに表彰控え室（競技場正面玄関：エントランス）に集合すること。（友好100mは、表彰および、賞状の対象外とする。）
  - (2) 4位から8位までの入賞者は、エントランスホールまで表彰状を取りに来ること。
5. 競技方法について  
＜トラック競技＞
  - (1) スターターの合図はイングリッシュコール「On your marks」「Set」とし、信号は電子音で行う。  
スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートを認める。（80mH・100m・400mR）  
スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。（素足は禁止する）
  - (2) 同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。

- (3) トラックレースにおいて、スタート前に腰ナンバーカードの代用として、レーンを示す色テープを配布するので、右腰や後方に貼り付けること。
- (4) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (5) 800mのスタート方法は、セパレートスタートとする。
- (6) リレー競技（男女混合4 x 100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。（補欠についても男女各1名ずつとする）
- (7) テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- (8) リレー競技に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全競技者とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- (9) リレー競技のエントリー者のうち、リレー競技に出場しない選手は友好レース（100m）に出場できる。11時までに出場者を書面にてTICへ提出のこと。
- (10) 80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- (11) 100mとリレーの予選は、タイムレースとし、上位8チーム（人）により決勝を行う。

#### <フィールド競技>

- (1) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。また、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。  
コンバインドA 走高跳のバーの上げ方（天候により変更有）  
（練習） （開始）  
0m90 0m95 （以後5cmきざみとする）
- (2) 走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- (3) コンバインドBのジャベリックボール投げの練習は、主競技場内で実施する。補助競技場および競技場周辺での練習は厳禁とする。
- (4) ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
- (5) ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。ジャベボールを使用する。

#### <コンバインド競技>

- (1) 本大会におけるコンバインド競技は以下の順とし、最初の競技が終了後、係が次の競技場所へ誘導する。
- (2) コンバインドA：①80mハードル、②走高跳
- (3) コンバインドB：①走幅跳、②ジャベリックボール投
- (4) 各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2020）』による。
- (5) 80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- (6) スタートまたは試技を行ない、記録無し、失格の場合は、0点とする。
- (7) スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。
- (8) 最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- (9) 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

6. 主競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。

7. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

8. 補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

- (1) 選手・監督・コーチ以外の者の出入りを禁止する。(ID で規制する)
- (2) ベンチを設置することを禁止する。
- (3) ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- (4) 1 レーンは、長距離のペース走専用とする。2～4 レーンは、流し等の専用とする。
- (5) 直走路 5～7 レーンはスタートダッシュ専用とする。8 レーンはハードル専用とする。
- (6) リレーのバトンパス練習はバックストレートを使用する。
- (7) 走幅跳の練習は所定のピットで行う。
- (8) 走路及びピットに立ち止まっの指導等を禁止する。
- (9) 走路は左回りとし、逆走は禁止する。また、直走路の横断は厳禁とする。
- (10) その他、競技役員の指示に従うこと。

9. 雨天練習場の使用については、次のことを厳守すること。

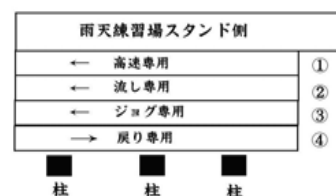
(1) スタンド側より

1 レーンは、高速専用とする。2 レーンは、流し専用とする。

3 レーンはジョグ専用とする。4 レーンは戻り専用とする。

走路の横断は厳禁する。

(2) 全天候走路上にチームベンチを設置することを禁止する。



10. その他

- (1) メインスタンド1階の入場は、競技役員及び表彰を受ける選手、ID着用者（補助競技場入場の指導者用IDは除く）のみとする。
- (2) 投てき場は、使用禁止とする。
- (3) 雨天時及び雨天後は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する場合は、指導者が十分に気をつけて指導すること。
- (4) 選手は、ゴール後本部前を通らず、ダッグアウト及び外周を通り最寄りのゲートから退場すること。
- (5) プログラムの訂正は **9時00分**までにT I Cまで申し出ること。
- (6) 申込不備による訂正は受付けない。競技開始後の訂正は一切受付けない。
- (7) 競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。  
持ち物の保管は各自で責任を持つこと。また、カラス被害に注意のこと。
- (8) 横断幕は、主競技場の芝生スタンド及びバックスタンドの手摺のみ可能とする。(最前列は禁止)